

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	七宗町立神淵中学校		
実 施 期 間	平成26年10月30日(木)～11月27日(木)		
実 施 概 要	①「職業講話」 ②「ふれあい訪問」(事前訪問)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等  <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	9 人	計                    26 人
	地域関係者	17 人	
実 施 状 況	<p>①「職業講話」 10月30日(木)          キャリヤ教育の一環として、1、2年生を対象に、ふるさと神淵地区に以前から和菓子店をかまえている『松栄堂 店長 中島 和志 氏』を招いて職業講話を実施した。</p> <p>②「ふれあい訪問」(事前訪問) 11月27日(木)          生徒会が中心となり、地域に住む高齢者の方々へ事前のアンケート調査を行い、訪問希望のあった高齢者宅を、生徒が住んでいる地域ごとに分担して放課後訪問した。          12月10日(水)には、さらに「ふれあい」を深めるために、清掃活動を行ったり、会話を楽しんだりする活動を行う予定である。</p>		
成 果 及 び 課 題	<p>①「職業講話」          神淵地区在住の店長さんより講話をしていただいた。講師の方からは「普通科高校で学びながら、ふるさと神淵のよさをどのように伝えるとよいのかを考えた結果が『お店を継ぐ』という形となった。」その経緯に至った思いを生徒に熱く語っていただいた。「ふるさと神淵を愛し」「神淵の発展のために自分もがんばり」「ふるさとを活性化させる」そんな将来像を生徒に抱かせる講演となった。          *今後このような人材バンクの活用 of 充実を検討する必要がある。</p> <p>②「ふれあい訪問」(事前訪問)          地域ごとに分かれて、全校生徒が高齢者宅の訪問を行った。どの地域の高齢者の方にも喜んでいただき、今後の訪問での「ふれあい」を楽しみにしてくださっていた。          しかし、年々、訪問先が減少しているのが現状である。多くの高齢者の方々との「ふれあい」ができるよう、地域への働きかけを積極的に行っていく必要性を感じている。</p>		